

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 3 月 31 日作成)

小委員会名	各部構法設計小委員会		主 査 名：角田 誠 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会(構法計画運営委員会)		委員長名：布野修司 主 査 名：野城智也
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・各部構法の実態を把握し、問題点を整理するため、先進的、特徴的な構法を用いた建築物の見学会を実施する。 ・多様化する各部構法において、時代を反映した各部構法を取り上げ、その変容過程を明らかにすることで、トレンド的な構法の成立要因を探る。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 角田誠(首都大) 小見康夫(武蔵工大) 名取発(東洋大) 池尻隆史(東理大) 大島隆一(小山高専) 太田昭夫(OT 設計室) 岡路明良(鹿島) 門脇耕三(首都大) 信太洋行(東大) 中島祐輔(工学院大) 南一誠(芝浦工大) 村上心(椋山女学園大) 野城智也(東大) 山本正人(竹中工務店)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2008 年度予算	195,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s2/	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	活動報告会 参加者 15 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1 .1990 年代以降の各種の構法の資料について、収集範囲及びそれらの資料の整理方法の検討を行った。 2 .特に、技術的側面、法規的側面、経済的側面などの分析軸が必要であることが共有された。
委員会活動の問題点・課題	1 .資料収集・分析と並行して、これらの研究成果の発表方法についても検討を行う。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。